

接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
令和8年1月21日東京都港区海岸1-1-1
ニューピア竹芝ノースタイル
ハウスプラス住宅保証株式会社
代表取締役社長 鈴木 哲夫

1. 接合金物名称	独立柱脚金物SB SB-140
2. 試験依頼者	株式会社 タナカ 〒300-4111 茨城県土浦市大畑702-1
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の構造特性値を確認する。
4. 試験内容	柱頭柱脚接合部(アンカー型)の圧縮試験 なお、準拠する試験方法・算定方法は、ハウスプラス住宅保証株式会社制定「木質構造試験等業務における接合部性能試験業務方法書(令和6年12月1日制定)」による。
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>「独立柱脚金物SB SB-140」 材 質: SS400(JIS G 3101)*1 (スリットベース) 寸 法: (外形)80mm×80mm×100mm ベース部t=6mm スリット部t=4.5mm アンカーボルト用孔1-φ24mm ドリフトピン用孔2-φ13mm (天板 SB-140) 寸 法: (外形)140mm×140mm×35mm t=4.5mm ベース用スリット加工6.5mm×72mm、孔加工1-φ24mm 表面処理: なし</p> <p>2) 接合具</p> <p>「ドリフトピン MDP-148」 2本 材 質: 以下の化学成分を満足する炭素鋼 C:0.15%以下 Mn:0.60%以下 P:0.040%以下 S:0.040%以下 寸 法: φ12mm、L=148mm、先端6mm絞りφ8mm 表面処理: Ep-Fe/Zn8/CM2C (JIS H 8610及びJIS H 8625)</p> <p>「六角ボルトM12」 1本 材 質: 強度区分4.6を満足する炭素鋼(JIS B 1180及びJIS B 1051) 寸 法: M12 L=110mm 表面処理: Ep-Fe/Zn8/CM2C (JIS H 8610およびJIS H 8625)</p> <p>「六角ナットM12」 1個 材 質: 強度区分4を満足する炭素鋼(JIS B 1181及びJIS B 1052-2) 寸 法: M12 表面処理: Ep-Fe/Zn8/CM2C (JIS H 8610およびJIS H 8625)</p> <p>「M12用偏芯丸座金」 1個 材 質: SS400(JIS G 3101)*1 寸 法: 外径φ40mm φ13mm長孔加工長さ19mm t=4.5mm 表面処理: なし</p> <p>「M12ワッシャー」 1個 材 質: SPHC(JIS G 3131)*2 寸 法: 外径φ26mm 内径φ13mm t=2.3mm 表面処理: Ep-Fe/Zn8/CM2C (JIS H 8610およびJIS H 8625)</p> <p>3) 軸組材料</p> <p>柱: 150mm×150mm×300mm スギ 無等級材 含水率: 9.5~11.0% 全乾密度: 0.36~0.41g/cm³</p> <p>*1 引張強さ: 400N/mm²以上、降伏点: 245N/mm²以上の強度を満足する炭素鋼 *2 C: 0.12%以下 Mn: 0.60%以下 P: 0.045%以下 S: 0.035%以下の化学成分を満足する炭素鋼</p>
6. 試験条件等	試験体は、実状に合わせた仕様とした。 試験体は、「六角ボルトM12」と「六角ナットM12」を用いて鉄骨架台に固定した。 (締付トルク管理値: 20N・m)
7. 試験結果	5%下限値(Py) 260.1 kN 5%下限値(2/3Pmax) 282.7 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス住宅保証株式会社 横浜第二試験所: 神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番
9. 試験実施日	令和7年12月4日、5日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス住宅保証株式会社 審査部 評定室 坂横 義夫 対馬 幸久 千葉 博 石田 恵菜

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。